

(14) 生活習慣病治療中断者及び未治療者の調査

1. 対象データ：健康スコアリングレポート、KDB(レセプトデータ)、NDB(レセプトデータ)
2. 対象期間：平成27年4月から令和2年3月まで(5年間)
3. 対象者：
 - ①対象期間に特定健診を受診した記録のない者
 - ②対象期間に特定健診を受診し、かつHbA1cが基準値より高い者
 - ③「高血圧(I10.x-I15.x)」、「脂質異常症(E78.5)」、「2型糖尿病(E11.x)」、「慢性腎臓病(N18.x)」、「高尿酸血症(E79.x)」の傷病名を有しかつ関連医薬品が処方されたレセプト
4. 評価指標：
 - 1)糖尿病性腎症第2期から～第4期までの病期別患者数および平均医療費。
 - 2)糖尿病性腎症の病期は尿タンパク値、アルブミン値、eGFR値を用いたスコアで判別する。
5. 分析方法：

令和2年3月までのレセプトデータで、生活習慣病(「高血圧症」、「脂質異常症」、「2型糖尿病」、「慢性腎臓病」、「高尿酸血症」)の治療を受けていた方で、過去6か月間医療機関受診が確認できない治療中断者や健診での異常値対象者で、レセプトが発生していない対象者(未治療者)について調査する。

日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会が2013年12月に定めた基準における糖尿病性腎症第2～4期に該当する対象について、病期推移のパターン分けを行い、疾病傾向と医療費について調査する。

分析時の変数 (主要なもの)	使用ファイル	作成方法
治療中断者	医療レセプト管理	生活習慣病のICD10が付与された後に6か月以上の医療レセプトがない者
治療有無	医療レセプト管理	当該年度に医療レセプトがあれば治療有り
病期推移	医療傷病名	傷病名コードから2015年度と2019年度の対象病期を抽出し、12にパターン分け
GIS		対象者数を市町村別にプロット

6. 分析結果：分析結果は次の図の通りです。

7. 考察：

図14-ア-1は生活習慣病の治療を継続して受けていた「治療継続者」の被保険者数と、過去6か月間医療機関の受診がない「治療中断者」の被保険者数を比較した結果を示しています。

治療継続者と比べて治療中断者が多い結果となり、その数は年々増加傾向にありました。図14-ア-1は性別・年齢階級別で比較した結果を示しており、治療中断者は年齢が高いほど多くなる傾向にあり75-79歳が最も多い結果となりました。

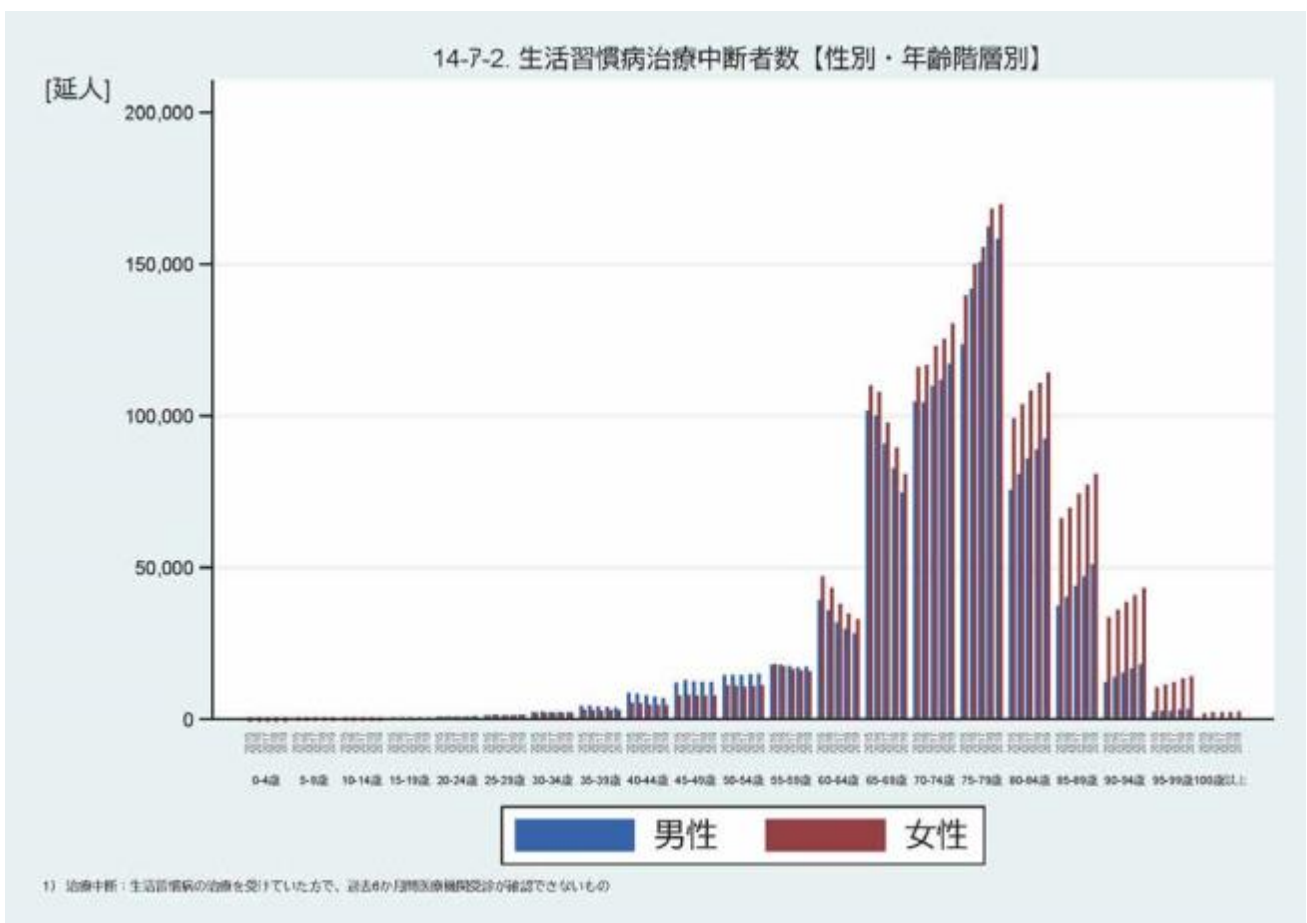
また、図14-ア-3は特定健診において血圧・脂質・血糖・尿蛋白・eGFR・尿酸のいずれかの値が異常値であるもののうち、医療機関で治療を行っている者(治療者)と医療機関を受診していない者(未治療者)を比較した結果を示しています。その結果、特定健診の異常値者の多くは受診年度に受診している結果がみられました。しかしながら治療内容は診療行為や医薬品の処方実態から更なる解析が必要です。いっぽう、図14-ア-4は特定健診において血圧・脂質・血糖・尿蛋白・eGFR・尿酸のいずれかの値が異常値であ

るもののうち、医療機関を受診していない者(未治療者)を性別・年齢階級別で比較した結果を示しています。年齢階級が高くなるほど未治療者数が増加する傾向が見られ、いずれの年齢階級において女性の方が男性と比べて多い結果がみられました。

図 14-イ-1 は糖尿病性腎症の病期分類別に患者数を性別で比較した結果を示しています。いずれの病期も年々患者数が増加傾向なり、男性が女性と比べて多い傾向にあります。図 14-イ-2 は尿蛋白の値の内訳を病期分類別に示しています。糖尿病性腎症の病期が高いほど、尿蛋白値の区分は高い傾向が見られました。図 14-イ-3 は病期推移のパターン別で患者数を比較した結果を示しています。その結果、2015 年度から 2019 年度までの期間では病期が変わらないパターンが多い結果がみられましたが、悪化した被保険者が一定数存在することが観察されました。

さらに図 14-ウ-1 で病期進行別で治療中断の有無を確認した結果、治療中断経験のある被保険者に病期が進行した事例がみられました。これを図 14-ウ-2 で治療中断者の医療費で分析した結果、糖尿病性腎症の病期進行かつ治療中断は、医療費が増加する傾向が見られました。

これらの結果から、性別・年齢・リスクにかかわらず、すべての圏域に多くの未治療者や糖尿病性腎症の病期ごとに治療中断者が存在し、悪化している事例がある。リスクに合わせた重症化予防、未治療者・中断者への介入の重要性が示唆されました。



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

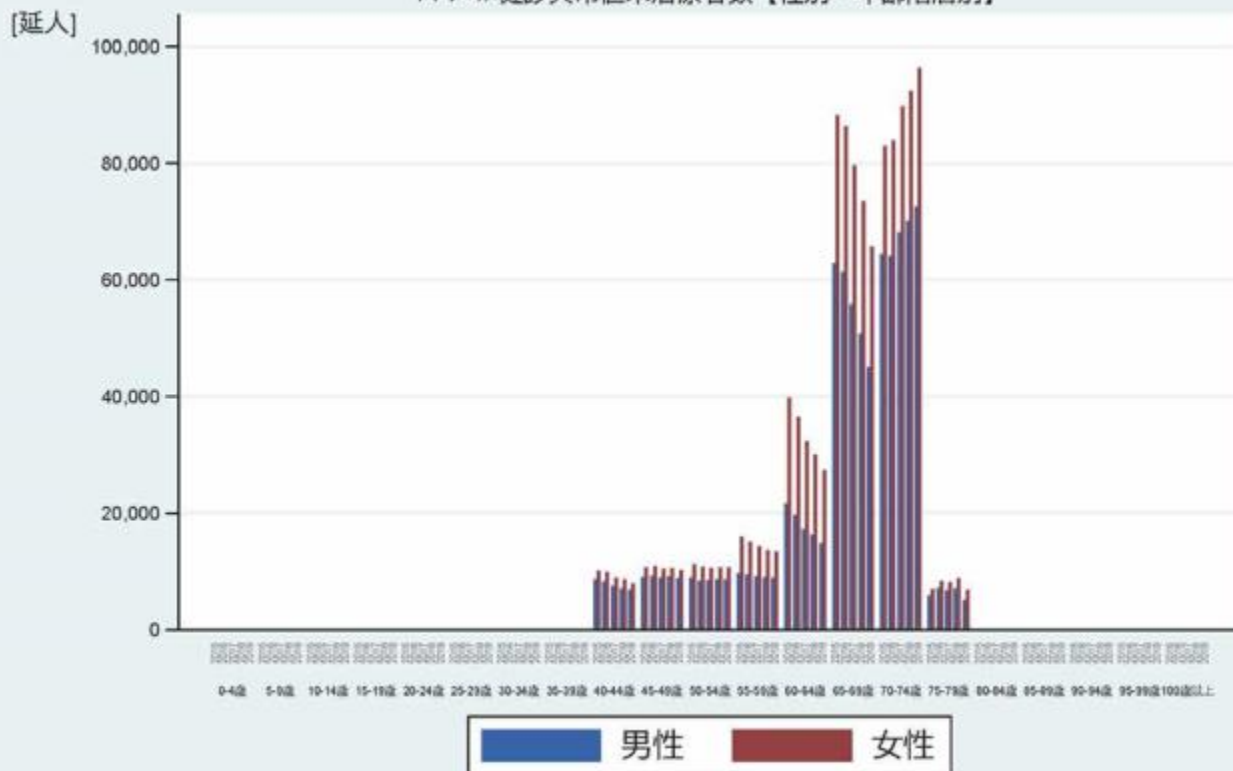
(15)

14-ア-3. 健診異常値者数【治療有無別】



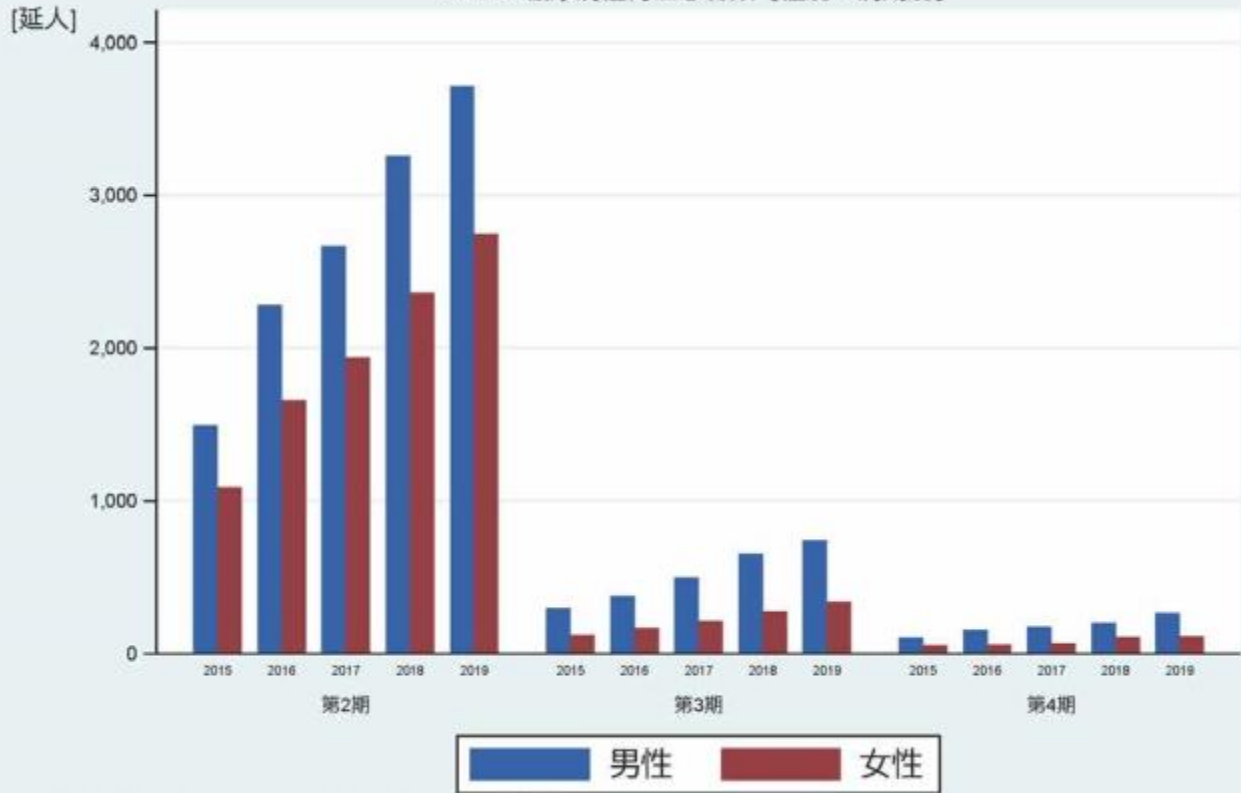
- 1) 健診異常値：健診において血圧・血糖・血脂等・尿蛋白・eGFR・尿酸の値が異常であるもの
- 2) 病種は健診年度であり、健診年度におけるレセプトの有無をもって治療者と未治療者を判別

14-ア-4. 健診異常値未治療者数【性別・年齢階層別】



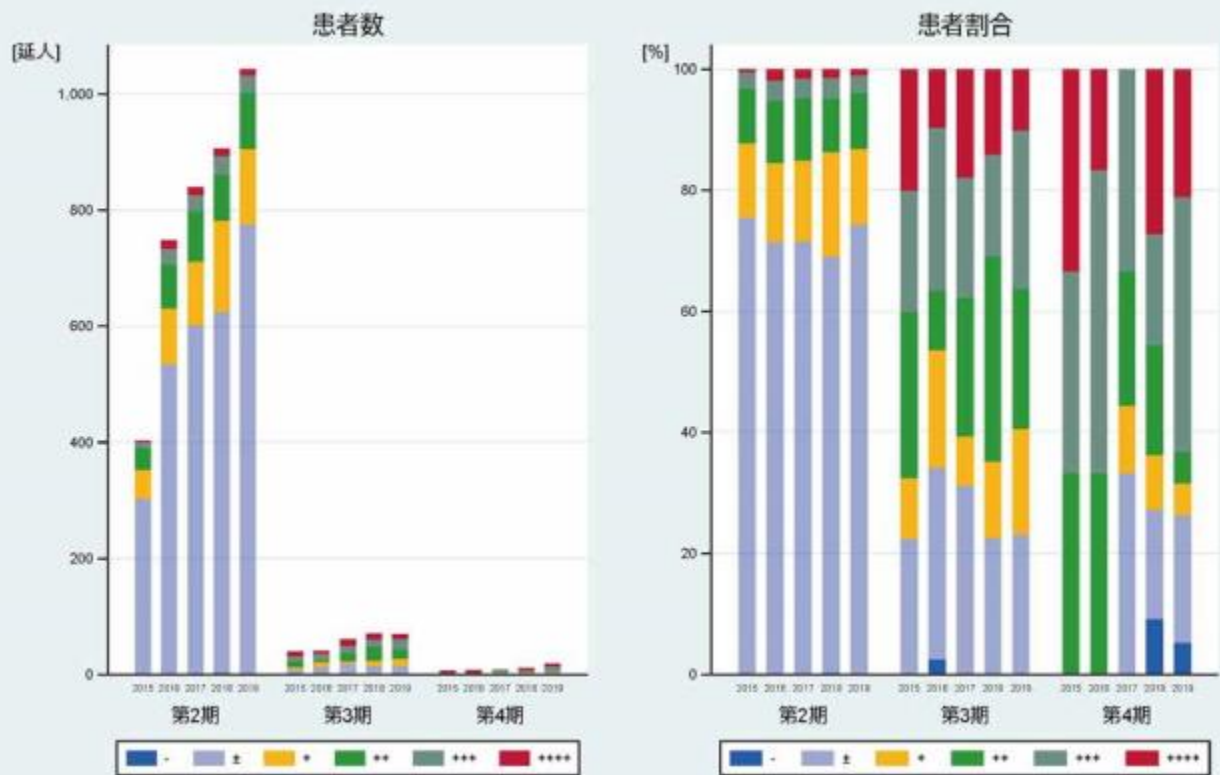
- 1) 健診異常値：健診において血圧・血糖・血脂等・尿蛋白・eGFR・尿酸の値が異常であるもの
- 2) 病種は健診年度であり、健診年度におけるレセプトの有無をもって治療者と未治療者を判別

14-1-1. 糖尿病性腎症患者数【性別・病期別】



1) 病期：日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会における糖尿病性腎症病期分類(2013年12月改訂)

14-1-2. 糖尿病性腎症患者【尿蛋白値別・病期別】



1) 病期：日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会における糖尿病性腎症病期分類(2013年12月改訂)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

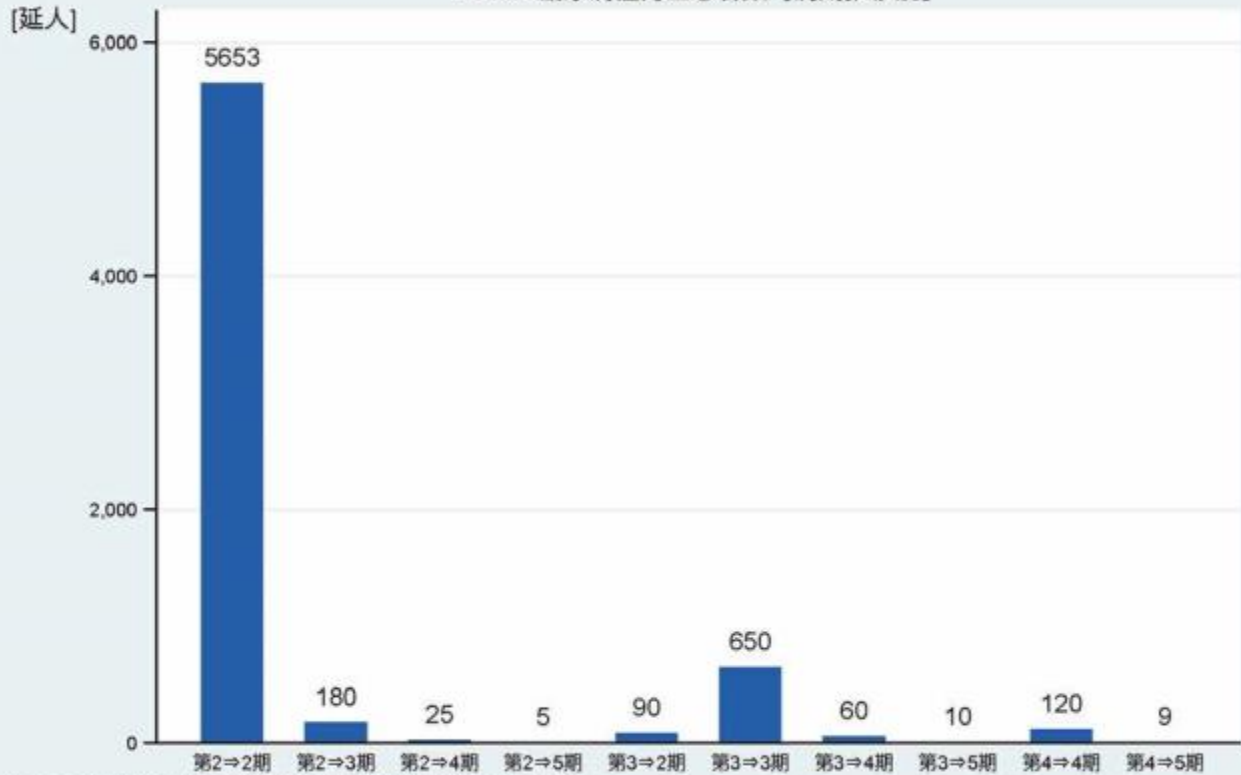
(12)

(13)

(14)

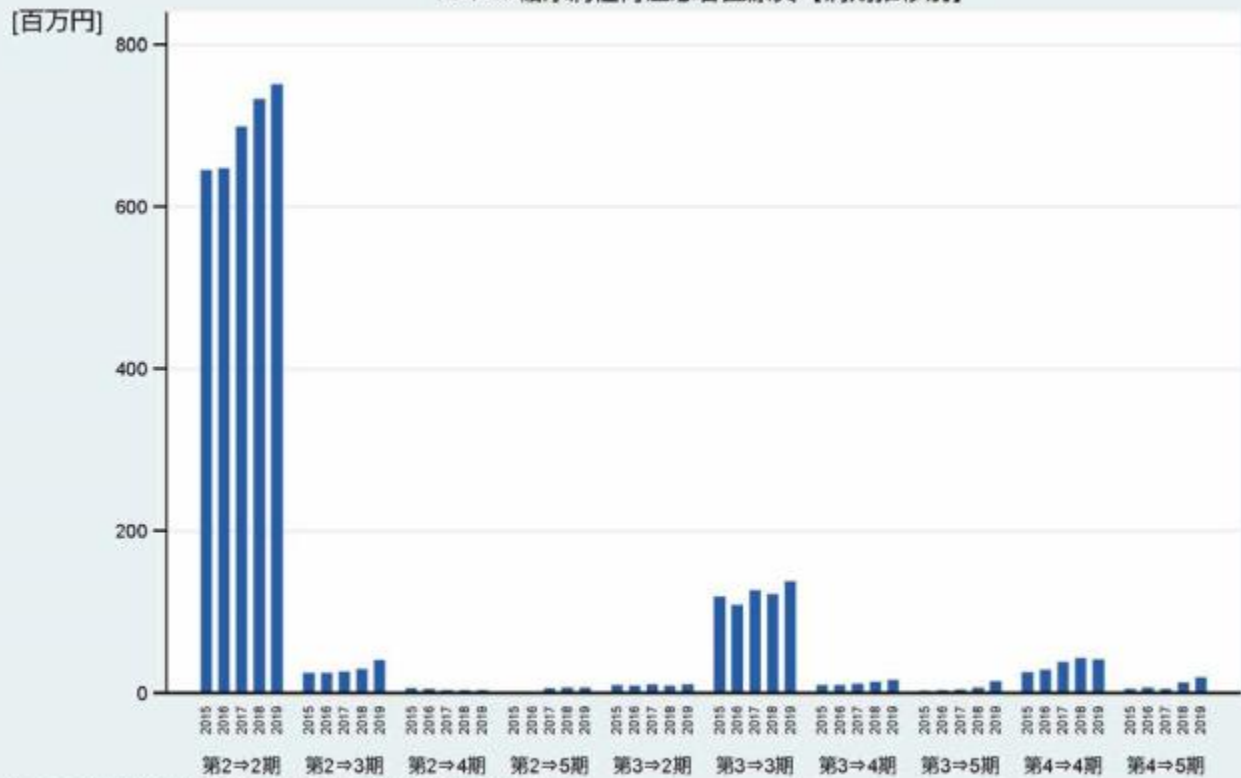
(15)

14-1-3. 糖尿病性腎症患者数【病期推移別】



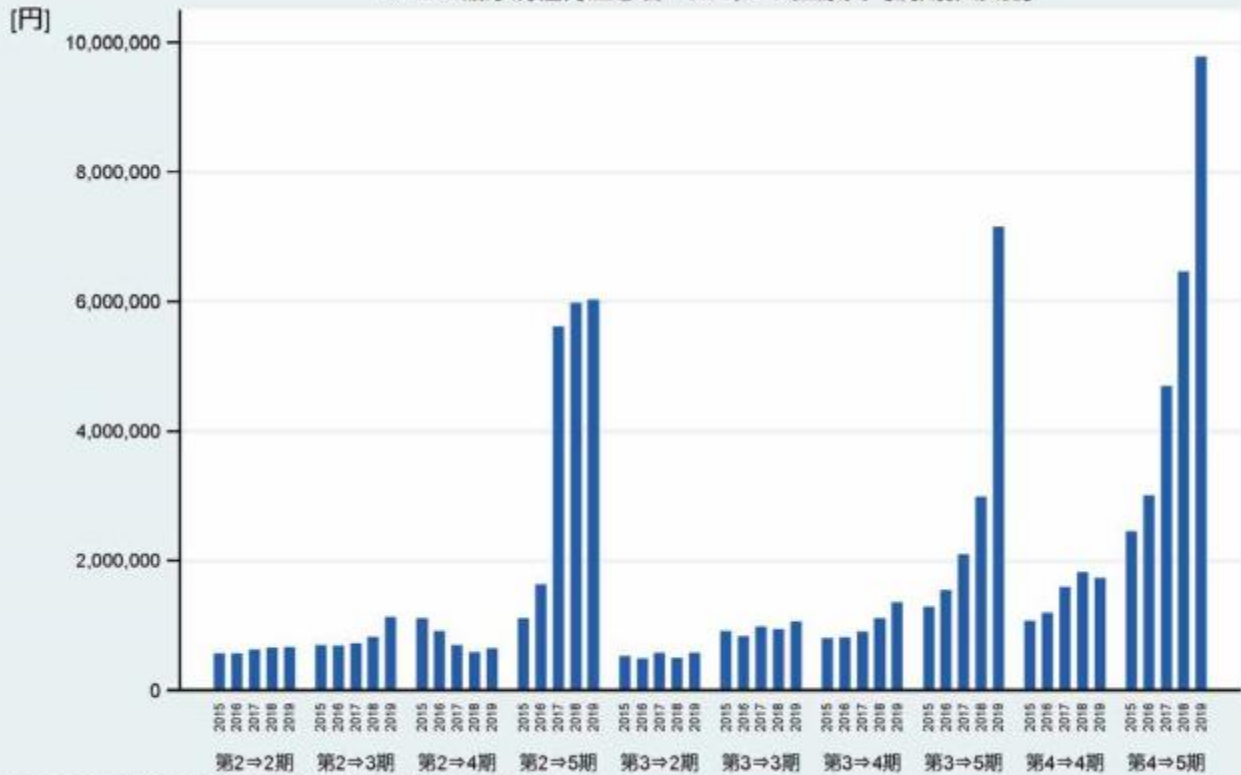
1) 病期：日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会における糖尿病性腎症病期分類(2013年12月改訂)
 2) 病期推移：2015年度病期 ⇒ 2019年度病期 (第4⇒2期・第4⇒3期においては該当患者なし)

14-1-4. 糖尿病性腎症患者医療費【病期推移別】



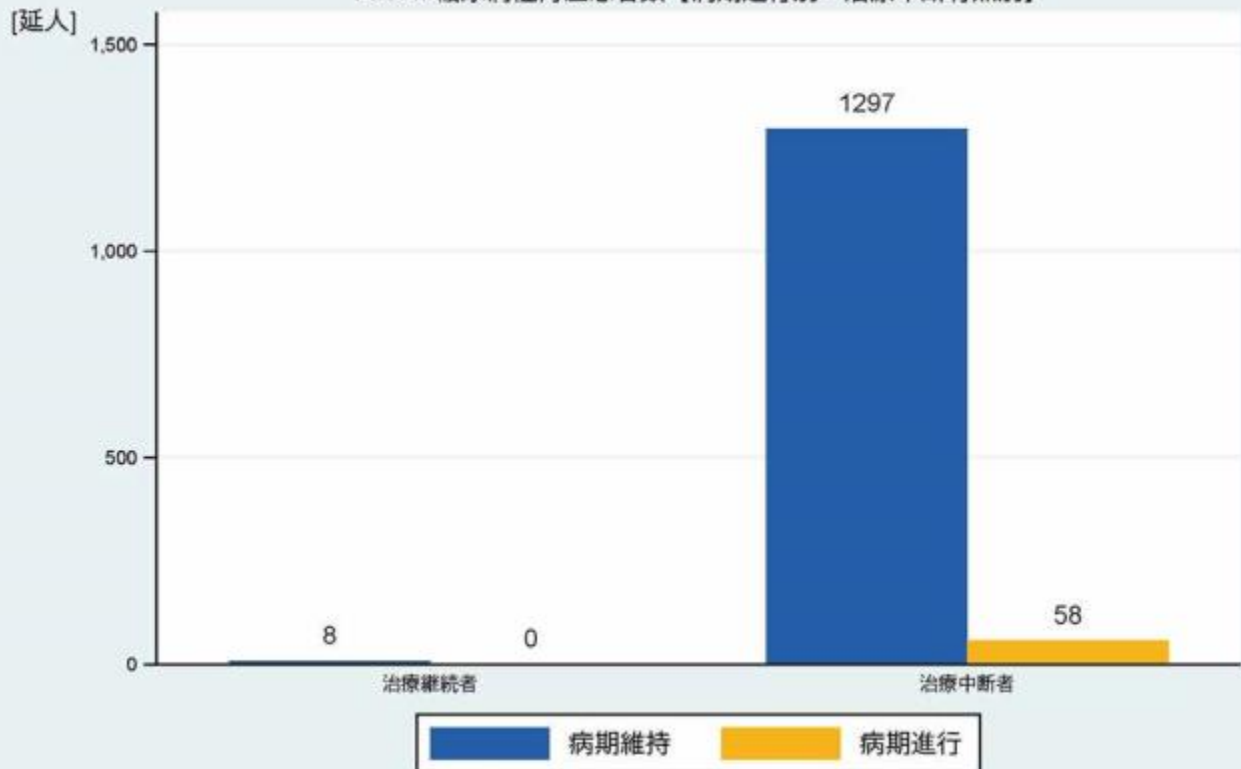
1) 病期：日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会における糖尿病性腎症病期分類(2013年12月改訂)
 2) 病期推移：2015年度病期 ⇒ 2019年度病期 (第4⇒2期・第4⇒3期においては該当患者なし)

14-イ-5. 糖尿病性腎症患者1人当たり医療費【病期推移別】



1) 病期：日本糖尿病学会糖尿病性腎症合同委員会における糖尿病性腎症病期分類(2013年12月改訂)
 2) 病期推移：2015年度病期 ⇒ 2019年度病期 (第4⇒2期・第4⇒3期においては該当患者なし)

14-ウ-1. 糖尿病性腎症患者数【病期進行別・治療中断有無別】



1) 病期維持：病期が維持もしくは改善 病期進行：病期が進行
 2) 治療中断患者：5年間で治療中断が1回以上ある者

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

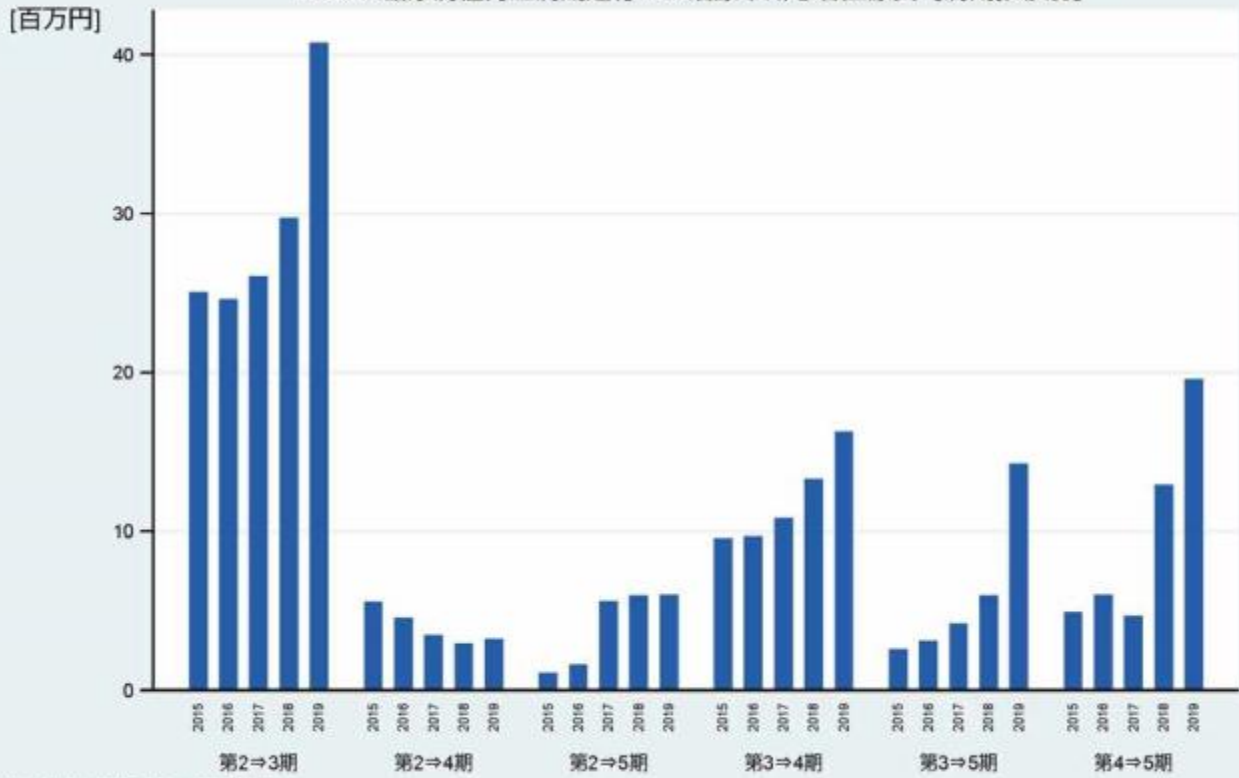
(12)

(13)

(14)

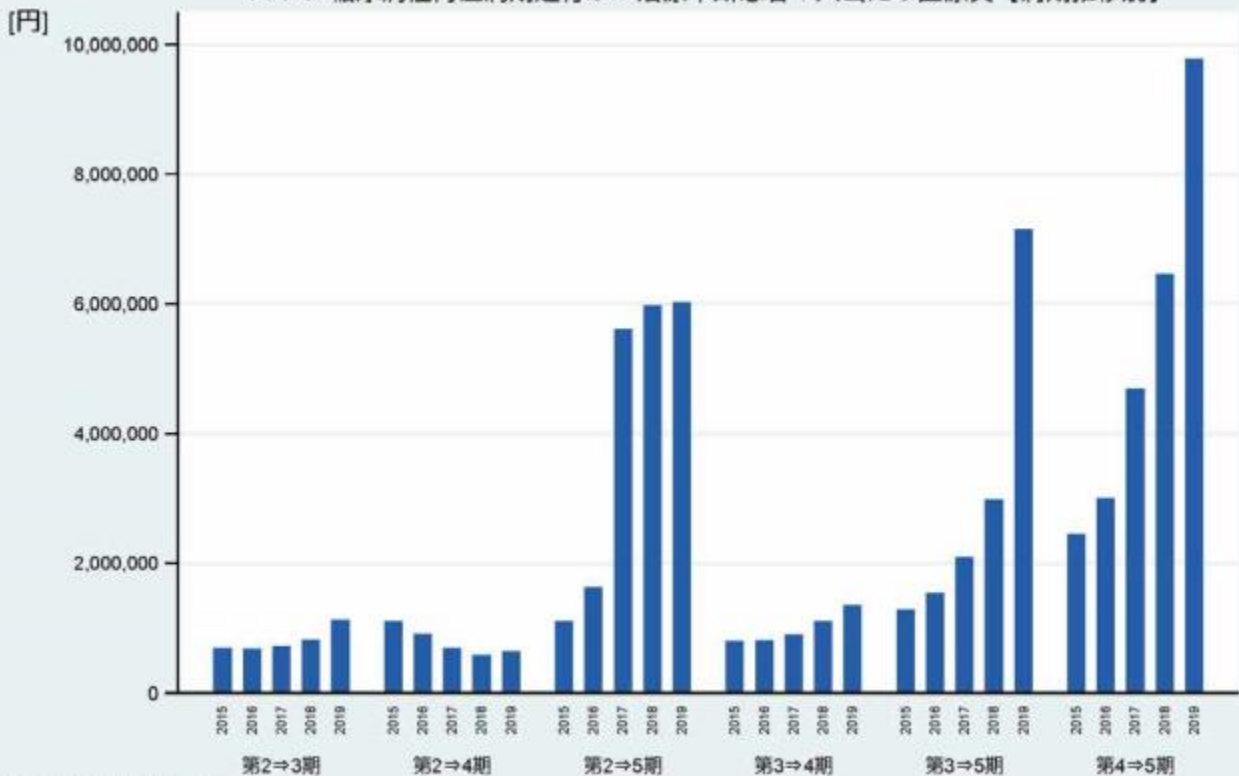
(15)

14-ウ-2. 糖尿病性腎症病期進行かつ治療中断患者医療費【病期推移別】



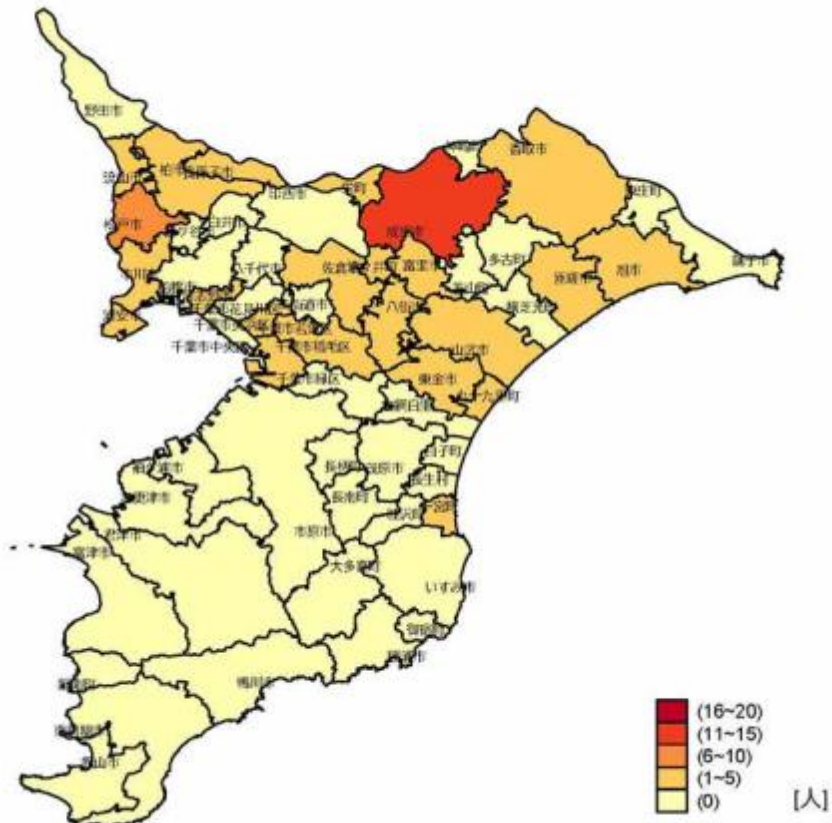
1) 病期推移：2015年度病期 → 2019年度病期
 2) 治療中断患者：5年間で治療中断が1回以上ある者

14-ウ-3. 糖尿病性腎症病期進行かつ治療中断患者1人当たり医療費【病期推移別】



1) 病期推移：2015年度病期 → 2019年度病期
 2) 治療中断患者：5年間で治療中断が1回以上ある者

14-7-4. 糖尿病性腎症病期進行かつ治療中断患者数【GIS】



- 1) 病期進行：病期が進行
- 2) 治療中断患者：5年間で治療中断が1回以上ある者

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)
- (9)
- (10)
- (11)
- (12)
- (13)
- (14)
- (15)

